

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和2年度 第1回加東市健康づくり推進協議会
開催日時	令和2年7月28日(火) 13時30分から15時まで
開催場所	加東市社公民館 研修室
議長の氏名 ( 山本忠志 )	
出席委員の氏名	山本忠志 曾野瑞弘 藤井信一 阪田拓哉 濱田恵子 山本貞江 池見清美 下山絹子 松本多美子 上月崇平
欠席委員の氏名	藤木厚巳 生田幸良 後藤浩美
説明のため出席した者の職氏名	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	健康福祉部 (部長) 大西祥隆 健康課 (課長) 細川公代 (副課長) 芹生祥子 (係長) 藤岡良恵 下崎ユカ 櫛原ひろみ
1 議題	(1) 令和元年度保健事業実績について (2) 令和2年度保健事業の推進について (3) 加東市自殺対策計画の進捗状況について
2 会議の経過	・あいさつ (山本会長) ・自己紹介 ・議事、意見交換 (協議会規則により会長が議長となる)
3 議事	<u>(1) 令和元年度保健事業実績について</u> 資料1に基づき、新規に取り組んだ事業や、既存事業で工夫し取り組んだものを中心に説明を行いました。  【意見交換】

委員：大変様々な分野で、それぞれの健康を保つためには早期発見、早期対応が大事だと思いますが、そういったことについて色々な対策を講じてくださっていることが、本当に大変だろうと感心するほどよくわかりました。

予防講座などをされておりますが、往々にして同じ人が参加するという傾向があると思います。来てほしい人が来ず、関心のある方はどの講座も参加されるという、そういう傾向があるのではないかと思います。そのための工夫はどんなふうにされていますか。

それから、サポーター制度で養成講座を受けた方は多くいらっしゃると思いますが、特に心のケアなどは、普段からの人間関係づくりが大変大事なのではないかと思えます。平素からの人間関係づくりができていところで、よりそういう発見ができたり相談ができたりするのではないかと。加東市全体でみたとき、それぞれの地域でそういったことが行き渡っているのでしょうか。そのサポーターの方の講座修了後の活動状況はどうなのでしょうかとということをお尋ねいたします。

事務局：1つ目の質問、講座は同じ方が参加されるという傾向にあるのではないかということは、確かにそのような傾向にあり、平日昼間での開催、関心の高い年齢層というところから、60代以上の女性の方の参加が多く、同じ方が幾つもの講座に参加されるというのは現状として感じています。

加東市では平成19年度よりサンサンチャレンジを実施しており、生活習慣病予防、メタボ予防の観点から、3カ月で3キロ痩せる市民運動として実施しています。この事業がスタートした経緯は、加東市は糖尿病の方が多かったこと、もう一つは働く世代や、教室には参加しにくい方にも自宅で取り組んでいただける取り組みとしてスタートしています。

また、健康課では元気応援隊を募集しております、健康づくりをするボランティアです。元気応援塾という講座で学んだ知識を、身近な人や地域の方に伝えていただくことで、様々な方に広がっていけばというところで、そういった活動や工夫、努力をしているところです。

事務局：2つ目の質問のサポーターのことですが、こころの健康では、自殺予防としてゲートキーパー研修を開催し、周囲の人の変化に気づいたり、声かけや傾聴、見守り、関係機関につなぐなどの役割をするゲートキーパーの養成を、年に1回、市民向けに講座を開催しております。講座に参加されたら認定という形はしていないため、受講者は延べ人数でしか把握はしておらず、地域全てに行き渡っているかはという

ところははっきりわかりませんが、地道に活動しています。

委員：本当に御苦労が多いなと思います。してもしてもなかなか行き渡らないというのはよくわかります。そういう中で御苦労は本当にありがたいと思っています。

各地域でサロン活動などをよくされていますね。そのようなところで、地域の中で特にサポーターではないけれども、お互いに参加する方たちの中で地域の方の状況が把握できるという大変いい場だと思います。

それから、市の健康課とか、いろんな方が地域に出向いてお話をしてくださって、ああいうことも大変いい場を活用できていいのではないかというふうに思っています。大変だと思いますが、今後とも頑張ってください。

議長：地域ぐるみということで、本当に健康というのは一人一人の皆さんの心の生き方というものすごく大事になってくる。それをどう本当に広げていくかというのは、行政とのつながりではないのかなというふうに思います。また、よろしく願いをしたいと思います。

委員：本当にきめ細かく、子育てにおいても計画してくださり、いろいろ実行して下さることを本当に心から感謝しております。

昨年も質問しましたが、海外から来られている方が増えてきており、特に妊娠など本当に不安だと思います。専門用語などは理解できにくい場合が多いですけれども、そういうふうな場合は通訳の方とかはつけていただけるのでしょうか。

事務局：今年度、ポケトークといいます翻訳機を購入し、これで翻訳をしながら対応しています。加東市では割合的にベトナムの方が多いという現状があり、ベトナム語の翻訳専門職員と同行訪問や、健診等に対応、また、乳幼児健診の案内通知文についても担当課と連携して一緒に考えて翻訳するなど、少し進んではきたかなという現状でございます。

委員：本当にありがとうございました。取り組んでくださったということは本当にありがたいなと思います。出産後もやはり不安だと思いますので、またよろしく願いいたします。

委員：もう一つ、コロナ対策です。1人出たという話があったとき、市民病院など適切な対応をしてくださったようでよかったなと思っています。いつどんなふうに出てくるかわからない、そういったことについての病床とかの対策については考えておられるのでしょうか。

事務局：病床の確保等につきましては、市のレベルでは対応はしておりません。県からの病床確保というような情報把握をしたり、対策本部会議の情報などを共有しているということです。入院調整やベッドの確保になりますと、健康福祉事務所が中心にされているという状況です。後で令和2年度の取り組みで少し御説明いたしますが、市としましては基本的な感染防止対策ですとか、情報の周知とかを中心に現在のところさせていただいております。

議長：ありがとうございました。ほかはどうですか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長：それでは、ただいまの令和元年度保健事業実績報告ということで、事務局説明の内容で承認いただくことでよろしいでしょうか。よろしければ拍手をもってお願いしたいと思います。

〔拍手〕

議長：ありがとうございました。では、事務局説明の内容で承認いたします。

## (2) 令和2年度保健事業の推進について

資料2に基づき、加東市健康増進計画（令和2～6年度版）の説明、新規に取り組む事業等を中心に説明を行いました。

### 【意見交換】

委員：かなり便利なアプリが導入されたということで、我々がかかわることが一番多いのは予防接種です。現在、紙ベースの母子手帳を確認して接種していますが、このアプリの場合はどうなるのでしょうか。もし、患者さんがアプリしか持参せず、我々はアプリを確認して、それでよろしいでしょうか。紙ベースの母子手帳で統一していただきたいと思いますが、予防接種に関しては、それが第1点。

もう1点、意見ではなく、とても感謝の気持ちで。毎年のように私はロタウイルスの予防接種を強くお願いしてきたのですが、これが今年10月から開始されてよかったですと思います。実は、開始の前から既に自費で接種している方が多い。そういう方々の場合は、助成はもちろなく仕方ないのですが、市のほうとしても何らかの対策ができたらいいなと思います。

事務局：1点目の母子手帳アプリでの予防接種の確認の件になりますが、アプリはあくま

でも補助的なもので、保護者の管理に役立てていただくものです。紙ベースの母子手帳は必ず持ってきていただき、そちらで確認という従来の形をお願いします。

事務局：2点目のロタウイルスの接種ですが、10月1日から定期接種となりますが、既に接種されている方も多くおられます。しかし、今のところ既接種者への助成の予定がないということで御承知おきいただければと考えております。

委員：もう一つお聞きしたいのは、予防接種を右手にしたか、左手にしたかということを保健センターから聞かれることがあります。医学的には私は右も左も余り関係ないと思うのですが、何らかの意味があるのでしょうか。

事務局：定期予防接種をされた方については、システムに全て情報を入力しており、それが必須条件の入力項目になっているようでしたら必要ということになります。また確認した後、先生へお返事させていただきます。

(※確認後、任意項目であった旨を報告しました)

議長：それでは、ほかどうでしょうか。御意見、御質問ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長：それでは、御意見がないようですので、ただいまの令和2年度保健事業の推進について、事務局説明の方針で取り組むことでよろしいでしょうか。よければ拍手をお願いします。

〔拍手〕

議長：ありがとうございました。では、事務局説明の内容で承認いたします。

### (3) 加東市自殺対策計画の進捗状況について

資料3に基づき、計画の進捗状況について説明を行いました。

#### 【意見交換】

委員：自殺対策は県も市と協力しながら推進をさせていただいていますが、コロナが非常に拡大している状況の中で、県としましてもコロナの影響で生活困窮になられる方や、コロナ鬱と言われるように、心がすごく傷つかれる方が増えてくるということが予想されています。また自殺対策の点もコロナの影響ということも出てくるのではないかと思います。今年、市職員の研修を実施されるということで、市の職員の方は相談窓口で経済面、精神面など様々な相談の窓口になっていると思います。そのあた

りで早期に発見、予防していただくというところで御協力いただければ大変ありがたいと思いますので、是非ゲートキーパー研修の推進をよろしくお願いいたします。

委員：自殺リスクが高い対象群で、背景にある主な自殺の危機経路のところ、本当に失業、生活苦というところの方が多くなっています。生活困窮者自立相談支援、これは市の社会福祉課が担当ですが、社会福祉協議会でもこの相談支援の一部受託をしており、相談等の対応させていただいています。本当に、そういう意味でもすごく大事な救出が望まれることだと改めて認識させていただきました。

それから、失業だけではなく、第1位の60歳以上無職同居のところではいいですと、退職が含まれており、シニア世代の方への就労支援や、機会づくり支援といった、そういうところも非常に大事なところなのかなと思いました。

それから、第4位の男性の40歳から59歳の無職独居、加東市では第4位ということですが、死亡率は非常に高くなっており、これは想像ですが、40代、50代で無職独居の方といいますと、社会的に孤立をされている方が多いのかなという気がします。相談に来られる方はまだいいのですが、なかなか相談につながらないケースへの対応というのが今後非常に大事と思っており、社会福祉協議会でも市と連携し、そのあたり相談支援等を充実していけるようにしていきたいと思っています。

委員：加東市で、自殺者が県平均よりも高いというのがちょっとびっくりですが、それはどうしてでしょうか。それから目標値が県よりも高いというのは、できるだけせめて県平均に近づけるように努力しようという、そういう数値が出てきてもいいのでは。わからないまま言っていますが…。

それと、こういう人たちが今どういう状況にあるかというのを発見する、気づくというのは、本当に近くにいる人たちだと思います。ですので、市の職員の方の研修は本当にありがたいし、仕事がたくさんある中で大変だと思います。やっぱり地域の中で気づく人、もっとそういう体制をつくらないといけないのではないかな。そういう意味では、民生委員や地域のいろんな自治活動の中でそういう役割分担みたいなものあたりするのですが、まだまだそれが行き届いてないのではないかなという気がいたします。ですから、やっぱり地域の地域力のような、何かそういう手だてが必要ではないかとそんな思いがいたしました。

事務局：兵庫県より本市が高いという理由が、明確なこれだというようなところは担当課のほうもつかめていない状況になっております。ただ、この自殺の統計につきましては警察統計というものと人口動態統計という死亡の届け出を出したようなものなど、

いろいろな統計がある中で、地域の目標にしているのは、警察統計をもとに厚生労働省がまとめている各市町のデータを使って目標を設定させていただいているところです。

目標をもう少し高いところにして、お一人でも少なくしていきたいという思いは、担当課も持っていますが、1つ、この目標値にしたのが、国の指針を計画策定時の目安にしており、まず10年間で30%は減らそうという目標で、5年間で15%は減らしていこうというところから基準年を参考にし、まず15%はクリアしていきたいというところで85%の設定をしたというのが目標設定の理由となっております。

ただ、単年度設定にした場合、その年により乱高下するため、平均でしたほうがいいのではないかと御意見もあり、平均での目標設定にさせていただいているという経緯がございます。

あと、市では、昔から住まれている以外に、たくさんの市民の方が転入されていますので、住まれている地域との繋がりが少ない方もかなりいらっしゃるのではないかといいところも考えており、なかなか相談に来られない方にどうやって発信していくか。また、何げなく相談に来られた窓口で少し悩みを抱えて、ほかの窓口で相談された方でも、そういったリスクの高い方については早期に必要な相談につなげていきたいため、市役所の職員の研修や、まちぐるみ健診の全戸配布時に相談窓口を掲載するなどの取り組みはしていますが、なかなか思うような成果が上がってないというところが実情です。

また、このような取り組みに対して提案、ご意見がありましたら是非お声を上げていただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

議 長：ありがとうございました。ほか、よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長：御意見がないようですので、ただいまの加東市自殺対策計画の進捗状況について、事務局説明の方針で取り組むこととしてよろしいでしょうか。承認できれば拍手をお願いします。

〔拍手〕

議 長：ありがとうございました。では、承認といたします。

これで、以上、本日本日予定をしておりました議事は全て終了いたしました。審議が滞りな

く進みましたこと、ひとえに皆様方の御協力のたまものでございます。本当に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

【閉 会】


閉会のことば（菅野副会長）

4. その他

次回協議会 令和3年3月頃

令和2年 9月 8日

議 長 山本 忠志 

署名人 阪田 拓哉 

署名人 下山 絹子 